

提 案 書

平成26年9月24日

(あて先)

埼玉県教育局教育総務部教育政策課長

所 属：川口市立並木小学校

職 氏 名：教諭 渡邊栄次

連絡先の電話番号：048-252-5407

埼玉県教育委員会教職員提案制度募集要項に基づき、次のとおり提案します。

タイトル： 力いっぱい運動し、体力向上を目指した指導の手引きの作成

実践事例の要旨：

児童の体力を向上させるために、体育の授業が大きな役割を担っている。文部科学省から「まるわかりハンドブック」が作られ、低・中・高学年の教材をどのように工夫して指導したらよいかを具体的に分かりやすく示されている。しかし、教材以外の授業規律や授業の組み立て方など、主運動以外のことは示されておらず、その結果、主運動までに時間がかかったり、安全への配慮が足りなかったりするなど、児童が思い切り運動できない要因がある。そこで、学校がどの児童にも一定の質を保った授業を実践できるために、体育授業におけるハンドブックを作成する。それによって、集団行動から授業の組み立て方や指導の仕方、教師の立ち位置、安全への配慮等、全教員が共通理解・共通指導できるようにする。

実践に至った背景：

埼玉県の児童の体力は各学校の努力により、向上傾向にある。その一方、体力に対する二極化は未だ課題として残っている。本校においても例外ではなく、学年が上がるにつれて運動する子としない子がはっきり分かれる。アンケートの実施から運動が好きではない児童でも、体育は好きと答える児童もおり、体育授業を充実することによって、運動に親しむ資質や能力を育成するきっかけとなるのではないかと考える。しかし、毎年の変動により入れ替わる職員が多く、それぞれの教員が自分の指導法で授業が行われているのが現状であり、指導にも温度差がある。また、集団行動では各担任で異なった指導をするため、毎年4月に学級で共通理解をするための確認が必要である。さらには、若手教員の採用が増え、指導経験が少ないことから、どのように授業を組み立てていけばよいか悩んでいる姿も見かけられた。

そこで、学校として共通の指導をすることによって、どの児童にも一定の質を保った体育授業を保証する。そして、若手教員も自信をもって指導できるように、「並木スタイル（体育授業ハンドブック）」を作成し、各担任が授業づくりをするためのバイブルとして活用した。

実践のねらい及び内容： ○実践のねらい <ul style="list-style-type: none"> ・学校内の全教員が一定の水準を保った、共通の指導ができる。 ・着任した教員や若手教員にとって、授業づくりの参考となる。 ・体育時における運動量の確保や授業規律の徹底に役立てられる。 ○実践の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・授業規律（集団行動、ハンドサイン） ・教師の立ち位置 ・準備運動の考え方 ・授業の運動時間の配分 ・授業での安全について ・指導者の声のかけ方 ・見学児童への指導 	
実践の成果や効果： <ul style="list-style-type: none"> ・全教員が共通理解し、共通行動を行うことができ、運動好きの児童を育成することができた。 ・若手教員にとって体育授業づくりのテキストとなっている。 ・授業規律を全校で集まる朝礼や集会でも活用できている。 ・体育での運動量の確保が図られ、児童の体力向上につなげることができた。 ・集団行動は毎年4月に確認をするだけで、指導する必要がなくなった。 	
実践期間： 2年 0月	
実践事例のセールスポイント： <ul style="list-style-type: none"> ・1時間の授業の流れにそった構成になっているため、授業のイメージをつかむことができる。 ・チェックシート方式となっているため、授業研究での活用や授業の振り返りがしやすい。 	
<実践事例を他校でも活用できる方策等> * 他校で導入する際のポイント： <ul style="list-style-type: none"> ・ただハンドブックを配布するのではなく、指導内容について共通理解を図ったり、実技講習会を行い指導の仕方を互いに見合ったりするなど、年度当初に研修を積み重ねる必要がある。 	
* 失敗しないための秘訣： <ul style="list-style-type: none"> ・自校の実態に合わせたり、始めから全てに取り組むのではなく、年度ごとにポイント絞って共通した指導ができるようにしたりする。 	
* こうすれば自校よりも高い効果が得られるという方策： <ul style="list-style-type: none"> ・定期的にチェックシートを用いて指導の振り返りを行い、成果や課題について共通理解を図る。 ・授業研究で積極的に活用する。 	
* その他：	
公的支援（予算措置や教職員の加配等）への要望	実践元の所属長確認 動画や写真の使用許可 <input checked="" type="checkbox"/>

- ※ A4判縦の用紙に横書き3枚以内で提出してください。
- ※ 資料（印刷物、動画や写真のDVD）を添付していただいても構いません。
- ◎ 印刷物による資料は規定枚数には含みません。
- ◎ 資料提出に当たっては著作権や肖像権等に御注意ください。
- ※ 実践を行った学校名等が公開される可能性があります。予め、実践元の所属長に提案内容について御確認ください。

これが

並木スタイル!



埼玉県川口市立並木小学校

これが「並木スタイル！」

学習規律を確立させ、力いっぱい運動し、思いっきり汗をかく 体育の授業

1. 「技能」「態度」「思考・判断」をバランスよく育む授業づくり

(1) 「㊟㊟㊟㊟」大きな授業を目指して 4つの要素

体育の楽しさ	子どもにとってのよい授業	関連する学習内容の観点
㊟動く楽しさ	力いっぱい活動させてくれた授業	授業の基礎的条件
㊟集う楽しさ	友だちと仲よく活動させてくれた授業	【態度】
㊟わかる楽しさ	新しいことに気づかせてくれた授業	【思考・判断】
㊟伸びる楽しさ	技を高めてくれた授業	【技能】

㊟動く楽しさ【授業の基礎】

- 運動時間の確保
 - ・45分の70%＝約32分を目標に
- 授業の雰囲気
 - ・やる気のみなざる姿
 - ・気持ちのよい返事「ハイ」
- 学習規律の確立
 - ・集合、整列→気持ちよく走って移動
 - ・準備、後片付け→役割分担を明確にして友だちと協力
- 準備運動、補強運動の充実
 - ・主運動につながる意味のある動きを取り入れる
 - ・並木っ子すすすくプログラム（体育館＝ストレッチ、運動場＝ボール投げ）

㊟集う楽しさ【態度】

- 自分も他者もOKという体験をたくさんさせる
 - ・仲よく活動する姿
 - ・教えたり補助し合ったりする姿
 - ・肯定的な発言が多い姿
- 話し合い活動
 - ・話し合う課題を明確にし、話し合う内容、話し合う方法をしっかり指導する。
 - ・思考の前提となる情報（作戦、ヒント）を提供する。

㊟わかる楽しさ【思考・判断】

- 動きのポイントの理解
 - ・動きのイメージをもたせ、動きのポイントを理解させる（気づかせるのが指導力）。
 - ・教えるべきことはしっかり教える。（技術、戦術、運動の行い方、知識）
 - ・これらを深めるための発問、説明、示範を行う。

㊟伸びる楽しさ【技能】

- 本時の課題の重点化・焦点化
 - ・本時の課題は本時の中でできるようにする。
 - ・本時の重点課題（ねらい）は1つ。
- 頻繁な個へのフィードバック
 - ・児童数×2～3回程度の言葉かけを行う。
 - ・「伸び」「評価」を確実に伝える。

2. 自己チェック式！ 並木小の体育授業の共通指導「並木スタイル」

ねらい

「学校で行われる全ての体育授業を充実させなければ、児童の体力・運動能力の向上はありえない」という考えを根底に、担任はもちろん、全教職員が「並木スタイル」を活用して共通理解、共通行動、共通指導を行い、並木小学校での体育授業の柱を確立することで、児童の体力・運動能力の向上を図る。

(1) 学習前

- 見学者への指導……□準備、後片付けを一括に行わせる。
…□計時や記録、得点、審判、スタート等の係活動をさせる。
…□仲間にアドバイスや補助をして積極的に関わりをもたせる。
…□授業のまとめで感想を発表、またはノートに感想を書かせる。

チェックらん

- ペア・グループ作り…□等質ペア・グループ
・苦手な子同士…教師の支援が必要
・能力が高い子同士…自主的な教え合い、発展的な内容もできる
□異質ペア・グループ
・運動が苦手な子も得意な子に教えられるように、見る観点を明確に！
・バランスのよいチーム編成をするために配慮すること
(①リーダーシップ ②得意 ③苦手 ④面倒見 ⑤男女 ⑥人間関係)

(2) 導入

- 集合、整列、挨拶……□並木小ハンドサイン（学校全体で共通指導）



集合（三重の半円）して、座る。



整列して、前へならえ。



1列で整列。



2列で整列。

- 笛・太鼓によるサイン（学校全体で共通指導）

「ビー」 運動をスタートする。

「ビッ・ビー」 運動を終了する。

「ビッ・ビッ・ビッ」 教師に注目する。

※笛（太鼓）のサイン+ハンドサインで効果UP

- …□単元によって基本の集合隊形を決める。（4列～8列）
…□移動は走る。
…□気持ちのよい返事「ハイ」、あいさつ「よろしくお願いします」
…□服装の確認（ぼうしのゴム紐、上着イン、靴紐）
教師「ゴム紐」 児童「よし」
教師「上着」 児童「よし」
教師「靴紐」 児童「よし」
…□健康状態を把握。表情などから心の状態もつかむ。

- 教師の立ち位置……………□太陽の光の向き、北風の砂埃の向きを意識する。
…□集合時、全ての児童が視界に入るよう、教師が3歩下がり姿勢を低くする。
- 準備運動……………□正しい動きを正しく行わせる。
…□子どもたちは声を出さずに、伸ばす部分に集中させる。
…□教師「〇〇さん基準」
児童「ハイ」（基準児童が手を挙げる）
教師「体操の隊形に」
児童「1・2」（手を腰に当て、広がる方向を向く）
教師「開け」
児童「オー」駆け足で体操隊形になる
…□子どもたちに言葉（称賛、助言）をかけながら個と全体を見て回る。
…□その授業で行う運動で、特に負荷のかかる部位を念入りに行う。
…□一斉指導でしっかりできるようになったら、グループでも可。
- すくすくプログラム…□体育館では柔軟性向上のためのストレッチ（ペアストレッチ）
…□運動場では投力向上のためのボール投げ（ペアボール投げ）
- 慣れの運動……………□主運動につながる「意味のある動き」を取り入れる。
…□セット化し、継続して行うことで、基礎的な感覚や動きを身に付ける。
- 用具の準備……………□単元のはじめにしっかり指導する。
…□役割分担をはっきりさせ、いつも同じ児童が同じ物と同じ場所に。
…□友だちと協力して「声を出しても音は出さない」。

(3) 展開

- ねらいの提示……………□長話は禁物。
…□ねらいや課題をズバリ提示！**本時のねらいは1つにしぼる！**
- めあてのもたせ方……□めあての3つの中身
①目標を設定する。 例：走り高跳びで115cm跳びたい。
②課題を選択する。 例：リズムカルな助走ができるようにしたい。
③活動を決定する。 例：輪と踏み切り板を使った場で助走練習する。
…□特に大切なのは、課題を意識させること。
例：□挙手 □ペアに伝える □学習カードに書く
□ネームカード掲示 □教師が課題の例を提示、選ばせる
- 主運動……………□雰囲気の良い授業
□認め合い □円陣 □ファイトコール □挨拶 □歓声 □笑顔
…□運動量は、量だけでなく質（一人一人が、カー杯、何度も）を大切に
- 立ち位置……………□近くで個々を、離れてグループや全体を観察する（死角を作らない）。
- 言葉かけ……………□45分授業で100回以上。
…□称賛、笑顔、拍手、握手、ハイタッチ、OKサイン、助言
- 場作り、ルール……………□全ての子にできる喜びを味わわせるための教材研究
…□易しい条件で段階的に学習できる場
…□発達段階に合わせた易しいルール作り

- 見合い、学び合い……□発達段階に合わせ、役割分担をしっかり決めて行わせる。
 - (低)「できているか、できていないか」が分かる手がかり(提示・掲示)
 - (中)「ポイントを絞って」見合う
 - (高)「見てほしいところ(課題)を伝え」高め合う
- …□できた子だけでなく、支えてくれた子も大いに褒め、みんなで高め合う雰囲気をつくる。
- 集合のタイミング……□主運動の途中で集めるからには、意味のある時間に
 - ①課題達成のためのポイントを全体で確認する。
 - ②教え合いなど学び合いの方法などをモデリングする。
 - ③課題を達成した子や上達した子を紹介、称賛する。
 - ④安全面での問題があった場合、徹底を図る。

(4) まとめ

- 用具の片付け……□単元のはじめにしっかり指導する。
 - …□役割分担をはっきりさせ、いつも同じ児童が同じ物を同じ場所に。
 - …□友だちと協力して「声を出しても音は出さない」。
- まとめ……□本時の課題(ねらい)に正対したまとめを行う。
 - (例)×「感想は？」 ○「本時のねらいは○○でしたが、どうでしたか？」
 - ・教師が一方的にまとめるのではなく、子どもの声を生かす(見学者も)。
 - ・苦手な子の伸び、がんばりも紹介したい。
- …□学習カードは授業の中で必須事項ではない(教室でもOK)。
- …□学習カードは学年に合わせ、短時間で記入できる工夫を。
- 整理運動……□使った筋肉をほぐすように、ゆっくりと行う。
- 挨拶……□気持ちのよい返事「ハイ」、あいさつ「ありがとうございました。」

(5) 学習後

- 次時に向けて……□学習カードに目を通し、苦手な子や自己評価の低い子を確認し、具体的な策を考え、意図的にかかわる。
 - …□朱書きを入れることで、授業中にできなかった指導や励ましをする。